

令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

佐賀県

行事名称	文化財防火訓練
実施期間・日時	令和8年1月18日（日）8時～9時
実施場所	佐賀城鯨の門及び続櫓（佐賀市城内二丁目）
主催者	佐賀市、佐賀広域消防局佐賀消防署、佐賀市消防団中部方面隊本部・中央分団

■実施内容

訓練の想定

令和8年1月18日午前8時頃、佐賀城鯨の門から出火。発見者の『火事だあ・火事だあ』との連呼で施設職員が119番通報する。施設職員が消火器により初期消火を行なうも消火できず延焼拡大する。

119番で覚知した佐賀広域消防局は、直ちに佐賀消防署及び佐賀市消防団中部方面隊に出動を要請する。

訓練の内容

佐賀城本丸歴史館職員による通報訓練、避難誘導及び初期消火訓練

消防署と消防団連携による火災防ぎょ訓練

参加者及び役割分担

佐賀城本丸歴史館（3名）：119番通報、初期消火

佐賀広域消防局佐賀消防署（13名）：火災防ぎょ活動

佐賀市消防団中部方面隊本部及び中央分団（23名）：火災防ぎょ活動

佐賀市危機管理防災課（3名）：通報・初期消火訓練事前説明、消防署・消防団活動調整補助、安全管理

佐賀市文化財課（3名）：地域住民、通行人及び公園利用者への周知、交通誘導

特に工夫した点

職員の一人が発見し、他の職員へ伝達後初期消火にあたる一方で、伝達を受けた職員が通報を行い、もう1名が利用客の避難誘導を行うという、より実践的な少人数での役割分担による初期対応を組み込んだ点。

問題点・課題

今回の訓練では、火災発見、初期消火、通報、消防団・消防署による消火という全体的な訓練の流れはスムーズに実施できた。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を実施しているが、地元消防団や地域住民の文化財愛護意識の高揚の機会としてはこの時期の実施が有効と思われるため、今後も継続して実施していく。

訓練風景

